総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

授賞年月日	氏 名	職名等	授 賞 理 由
平成26年 3月26日	山本雅之	医 学 系 研 究 科 教 授 東北メディカル・メガバンク機構長	平成26年3月12日に「生体の環境ストレス応答の分子機構の解明」を受賞題目として、 「平成26年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	佐 藤 英 明	農学研究科教授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年 3月27日	中沢正隆	電気通信研究所所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度 化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成21年 9月25日	中沢正隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器 (EDFA) の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川人貞史	法 学 研 究 科 教 授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受 賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加藤康司	工 学 研 究 科 教 授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井 上 明 久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小 柳 光 正	工 学 研 究 科 教 授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴木厚人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小 谷 元 子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大 野 英 男	電気通信研究所教授	平成 17年6月 13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成 17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。 平成26年度 平成25年度

1797-0-172					
氏名・団体名 職名等	授 賞 理 由				
ダニエル・ アイコースト ベン・シャーロン	効果的な英語学習及び指導法として「多読法」での授業を行い、学生に 自律的な多読を促し、多くの学生の英語能力を向上させ、現在では、 附属図書館と連携し多読コーナーを設置する等。本学の全学教育及び ラーニングコモンズ形成に大き、貢献した。 また、その成果を広く紹介することにより、学内外における英語教育 の改善にも貢献している。				
エ 学 研 究 科 東 北 大 学・カ ター ルサイエン スキャン バス 実 施 委 員 会	延べ1万人以上の小中高生に対して、学校では体験できない「ものづくり科学実験体験」や「地域企業の工場見学プログラム」等様々な教育プログラムからなる「東北大学・カタールサイエンスキャンパス」を企画・実施し、接災地の子供たちの教育支援や次世代の高度ものづくり人材教育の推進等に大きく貢献した。				
農学研究科農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	川渡、女川及び仙台を拠点とする全国一の規模と内容を誇る広大なフィールドンターを活用し、黒。食及び環境に関わる教育了ログラムを開発、小中高校生や社会人向けの公開講座を通じて社会貢献を果たすとともに、学内外学生及び大学院生に対する学際的なフィールド教育の展開に大きく貢献した。				
ヒューマンセキュリティー連携国際教育プログラム	ドエーマンセキコリティ」という統一テーマの下に、それぞれの研究分野 (環境、健康、食糧・農業、社会)から教育、研究の面で相互に連携・協力を 行い、新しい労野橋前型教育「プログラムを立ち上げ、国際的視野でプロ ジェクトを推進し、従来の専門領域を越えた学際的な知と複合的な視点 を備えた。国際的な人材育成に大きく貢献した。				

氏名 職名等
| 浅川 照夫 高等教育開発推進センター 教授
| 本江 正茂 工学研究科 准教 授環境科学研究科 国際エネルギー・資源戦略を立案する環境リーダー育成拠点推進委員会
| 星川 康 加齢 医学研究所 助教

平成24年度

 氏名
 職名等

 芳賀 満 高等教育開発推進センター 教授鈴 木 敏 彦 歯 学 研 究 科 助 教工学 研 究 科 レー Q I ス クール情報科学研究科 情報リテラシー教育プログラム「科学者の卵養成講座」実施運営委員会

総長賞受賞者 平成26年度

本学の教育目標にかない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士															
熊	谷			綾	文	学	部	今	別	府	伶	奈	医	学	部
中	島		尚	紀	文	学	部	富	澤		実	祐	歯	学	部
田	中			茜	教	育 学	部	伊	藤		史	織	薬	学	部
五	+	嵐		悠	法	学	部	Ш	﨑		絢	介	I	学	部
清	Ш		貴	重	法	学	部	大	倉		嵩	史	I	学	部
立	Ш		彩	夏	経	済 学	部	山	田		修	平	I	学	部
伊	藤		健	太	経	済 学	部	福	田		健	=	I	学	部
柳	瀬		光	亮	経	済 学	部	小	松		広	弥	I	学	部
中	Ш			步	理	学	部	吉	田			舜	I	学	部
右	京		な	な	理	学	部	木	村		勇	希	I	学	部
井	上		真	登	理	学	部	番	場		良	平	I	学	部
戴			哲	皓	医	学	部	関	根			綾	農	学	部
内	堀		雄	介	医	学	部	小	柳	友	佳	子	農	学	部

修士					
金	井		貴	幸	医学系研究科
佐	4	木	渉	太	工学研究科
平	島		哲	矢	工学研究科
今	泉	絵	里	花	工学研究科
小	原		俊	樹	工学研究科
土	内	憲	_	郎	農学研究科
高	石		大	介	情報科学研究科
博士					
山	下		真	里	文学研究科
斉	藤	仁	-	朗	教育学研究科
マ	1	アロ	-	ツ	法学研究科
徐			航	天	経済学研究科
松	下	ステフ	アン	/ 悠	理学研究科

林			航	平	理学研究科
北				元	理学研究科
猪	股		航	也	理学研究科
藤	田			剛	医学系研究科
石	田		囯	彦	歯学研究科
矢	吹			悌	薬学研究科
李			星	輝	工学研究科
髙	橋		宏	幸	工学研究科
小	野		公	徳	工学研究科
目	黒	志	帆	美	国際文化研究科
上	野		彩	子	情報科学研究科
按	田		瑞	恵	生命科学研究科
呉			暁	勇	環境科学研究科
髙	橋		広	樹	医工学研究科
薄	井		洋	子	教育情報学教育部

総長優秀学生賞受賞者 平成26年度

日本学術振興会育志賞受賞者を表彰するものです。

中 村 恭 平 医 学 系 研 究 科 熊 谷 将 吾 環 境 科 学 研 究 科

学友会長賞受賞者 平成26年度

入部から卒部までの間の成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

小	野		絋	夢	混	声	合	唱	部
塚	本	恵	理	子	演		劇		部
鈴	江		真	±	吹	奏		楽	部

鈴木	絢 子	陸	上	競	技	部
三富	崇 永	硬	式	野	球	部
紀国	亮	硬	式	庭	球	部

杉 村 俊 輔 オリエンテーリング部

東北大学藤野先生賞受賞者(魯迅賞)

学術交流を通じ東北大学の教育研究の発展に功績のあった中国人又は中国の団体を表彰するものです。

東北大学藤野先生賞

平成 17年 孫 報 北京魯迅博物館館長

東北大学魯迅賞

平成 16年 顧 秉 林 清華大学総長

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

授賞年度	氏 名	部局	授賞年度	氏 名	部局	授賞年度	氏 名	部局
	遅 皎 潔	文学研究科	平成23年	うぇん ねい 温 磊	生命科学研究科	平成 19年	王 冷 然	法学研究科
	う 福	医学系研究科	平成22年	王 疆	経済学研究科	十成15年	りゅう しん こう 置	理学研究科
平成26年	劉恢弘	工学研究科	十成乙二十	陳 桂 興	理学研究科		陳 鋭	歯学研究科
	きん きん うぇぃ 王 慶 偉	生命科学研究科	平成22年	胡春艶	医学系研究科	平成 19年	岳 新 艶	工学研究科
	ラー しょう よ 男	環境科学研究科	一版左左牛	張 志 宇	工学研究科		袁媛	農学研究科
	彭寧寧	理学研究科		王 秀 芳	文学研究科		覃 慧 玲	理学研究科
平成25年	孫 舒 嵐	医学系研究科		珠欄其其格	医学系研究科		杜瑋	医学系研究科
	許 斌	工学研究科	平成21年	馬麟	工学研究科	平成 18年	韓峰	薬学研究科
	浦正寧	経済学研究科		車			常春涛	工学研究科
	柱 沛 君	医学系研究科		王 紅 霞	生命科学研究科		こう きょく ひん 侯 旭 濱	生命科学研究科
平成24年	陳凱幼	工学研究科		5ょう よう よう 張 蓉 蓉	経済学研究科		薩姆娜	文学研究科
	9ゅう じゃ じゃ	情報科学研究科		う は th	理学研究科		金光宇	経済学研究科
	果崇中	環境科学研究科	平成20年	王 保 珍	薬学研究科	平成 17年	代 紅 梅	医学系研究科
	朱 华	理学研究科		張	工学研究科		☆ 志 前	歯学研究科
平成23年	浩 日 勒	医学系研究科		王 弘	情報科学研究科		さる 最	工学研究科
	がまう しょう れい 趙 暁 麗	工学研究科						

澤柳記念賞(澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞)受賞者

「澤柳記念賞」は、男女共同参画社会をめざす活発な取り組みの一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍 し、多大な貢献をなした方々を選考し顕彰する制度です。

平成26年度

氏名・団体名	職名等	受	賞	部	門	受 賞 課 題 名			
辻村 みよ子	明治大学法科大学院 教授	本			賞	日本の男女共同参画社会の推進を牽引する先導的活動について			
SA輝友会(エスエーきゅうかい)	奨	励)	賞	章 東北大学サイエンス・エンジェル (SA) 修了生による男女共同参画推進の取組み			

沢柳賞(東北大学男女共同参画奨励賞)受賞者

「沢柳賞」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

授賞年度	氏名・団体名	職名等		受 賞	部門		
平成24年	アロナ	経済学研究科 「留学生・研究者の出産・育児を支援する地域・大学協働プロジェクトチーム」代表	活	動	部	門	
平成23年	朝倉京子	医学系研究科教授	研	究	部	門	
	茂木洋平	法学研究科博士課程後期	研	究	部	門	
平成22年	阿 部 比佐久 久 利 美 和 村 上 祐 子	理学研究科再雇用職員 理学研究科助教 理学研究科准教授	プロジェクト部門(特別賞)				
	下 夷 美 幸	文学研究科准教授	研	究	部	門	
平成21年	青葉理学振興会	活	動	部	門		
十成21年	女性と労働研究会	プロジェクト部門					
	山 崎 都	病院 医員	活 動	部 門	(特別賞)		
平成20年	東北大学川内けやき	呆育園保護者会	活	動	部	門	
十版20年	トゥルムンフ オドントヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門(特別賞)				
	齊籐綾美	教育学研究科特別研究員	研	究	部	門	
	阿 部 未 央	法学研究科博士課程学生	研究部門(特別賞)				
	工学研究科 機械・	究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会同WGおよび女子学生交流会学生スタッフ					
平成19年	尾 崎 博 美 八 木 美保子 水 原 克 敏 生 田 久美子	美保子 教育学研究科博士課程学生 克 敏 教育学研究科教授				部門	
	ヤマモト ルシア エミコ	文学研究科専門研究員	プロ:	ジェクト	部門(特	別賞)	
	吉 田 浩	経済学研究科助教授	研	究	部	門	
平成18年	遠 山 智 子 鈴 木 美智子 玉 江 京 子	理学研究科教育研究支援者 理学研究科教育研究支援者 理学研究科助手	活	動	部	門	
	海老原 孝 枝	病院「子育てに関る女性医師の会」代表	活	動	部	門	
-	橋本鉱市	教育学研究科助教授	プロ	〕ジェ	クト	部門	

本多光太郎記念賞受賞者

国際学術交流を通じ、東北大学の教育研究の発展に功績のあった外国の個人又は団体を随時表彰するものです。

授賞年度	氏 名	国籍	所 属 等	授
	パトリック・ブジャン	フランス	国立中央理工科学校リヨン校学長	
	ルノー財団			11/
平成18年	アルベール・プレヴォ	フランス	国際教育学研究センター所長	
十成10年	アラン・ストーク	フランス	国立応用科学院リヨン校学長	
	レオ・ヴァンサン	フランス	国立中央理工科学校国際交流部長	
	アラン・レザ・ヤバリ	フランス	グルノーブル国立総合技術研究所教授	

授賞年度	氏 名	国 籍	所 属 等
平成16年	ジョン・ストラリー	イギリス	クランフィールド大学名誉教授
	リンゼイ・グリアー	イギリス	ケンブリッジ大学教授
	ロバート・ジェニングス卿	イギリス	元国際司法裁判所長官